2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月５日

上 場 会 社 名　綜研化学株式会社　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　4972　URL https://www.sokenchem.com/jp
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長執行役員　（氏名）冨田　幸二
問合せ先責任者　（役職名）執行役員 ＩＲ・広報室長　（氏名）小林　弘昌　（TEL）03-3983-3268
半期報告書提出予定日　2026年11月９日　配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：無
決算説明会開催の有無　：有　（機関投資家、アナリスト向け　）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	25,765	13.3	3,754	26.5	3,776	31.2	2,937	40.4
2026年３月期中間期	22,750	△6.5	2,968	△21.7	2,878	△20.7	2,091	△25.4

（注）包括利益　2027年３月期中間期　3,973百万円（ 329.0%）　2026年３月期中間期　926百万円（ △79.5%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	176.96	―
2026年３月期中間期	126.12	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	63,053	44,246	70.2
2026年３月期	58,708	41,493	70.7

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　44,246百万円　2026年３月期　41,493百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	75.00	75.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	―	―

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

なお2027年３月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,500	7.4	6,300	2.1	6,200	△0.6	4,300	6.3	259.19

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（注）詳細は、添付資料９ページ「中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	16,607,000株	2026年３月期	16,600,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	4,862株	2026年３月期	4,835株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	16,597,290株	2026年３月期中間期	16,584,756株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 9
（セグメント情報等の注記） ……10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における経済情勢は、中東情勢の影響による資源・エネルギー価格の高止まりや物価上昇が続くなか、為替相場の変動や中国の景気減速の影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、中東情勢の悪化に伴う業績への影響を最小限に留めるべく、取引先との連携を強化して原材料等の確保に努め、製品の安定供給を維持するとともに、原材料価格等の上昇に応じた製品価格改定を進めてまいりました。

また、今年度を初年度とする3ヵ年の中期経営計画「Advance 2028」に基づき、ASEAN・インド市場での粘着剤および加工製品の事業拡大に向けた新たな販売・生産体制の構築や既存事業と親和性の高い事業領域への参入に向けた研究開発機能の強化、スタートアップとの協業による新規事業の創出など次世代事業領域の拡大に注力するとともに、既存事業におけるコスト構造改革や価格競争力の強化など収益力の向上による安定収益基盤の拡大に取り組んでおります。

当中間連結会計期間の業績につきましては、液晶ディスプレイ関連の需要は弱含みで推移しましたが、情報・電子分野や自動車分野などでの販売が堅調に推移したことに加え、原材料価格等の上昇に応じた製品価格改定、前年同期比で大幅な円安になったことに伴う海外子会社業績の為替換算額の増加などにより、売上高は257億65百万円（前年同期比13.3%増）となり、営業利益は37億54百万円（前年同期比26.5%増）、経常利益は37億76百万円（前年同期比31.2%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は29億37百万円（前年同期比40.4%増）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

＜ケミカルズ＞

ケミカルズの売上高は236億76百万円（前年同期比12.6%増）となりました。製品別の状況は、以下のとおりです。

粘着剤製品は、液晶ディスプレイ関連用途の販売数量が前年同期の水準を下回ったものの、原材料価格等の上昇に応じて製品価格を見直したことなどにより、売上高は167億86百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

微粉体製品は、中国市場での光拡散用途の需要が回復したことや、情報・電子分野での販売が堅調に推移したことなどにより、売上高は16億15百万円（前年同期比18.2%増）となりました。

特殊機能材製品は、中国市場での電子回路材料用途や電子部品関連用途の販売数量が増加したことなどにより、売上高は18億19百万円（前年同期比24.7%増）となりました。

加工製品は、中国市場でのスマートフォン・タブレット用途の販売が一時的に落ち込んだものの、自動車・家電用途の販売数量が増加したことなどにより、売上高は34億55百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

＜装置システム＞

装置システムについては、設備関連の工事完成高は前年同期並みであったものの、熱媒体油およびメンテナンスの販売が増加し、売上高は20億89百万円（前年同期比21.0%増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末（以下「当期末」という。）の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて43億45百万円増加し、630億53百万円となりました。

流動資産は、有価証券、棚卸資産が減少したものの、現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産が増加したことなどにより、前期末に比べ39億63百万円増加し、421億57百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が増加したことなどにより、前期末に比べ3億81百万円増加し、208億96百万円となりました。

一方、負債については１年内返済予定の長期借入金、契約負債等のその他流動負債が減少したものの、支払手形及び買掛金、短期借入金が増加したことなどにより、前期末に比べ15億92百万円増加し、188億7百万円となりました。

当期末における純資産は、利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したことなどにより、前期末に比べ27億53百万円増加し、442億46百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前期末70.7%から0.5ポイント減少し70.2%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前期末に比べ30億34百万円増加し、203億94百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、40億65百万円となりました。

これは、主に税金等調整前中間純利益37億40百万円、減価償却費12億71百万円などによる増加と、売上債権及び契約資産の増加8億89百万円、法人税等の支払額7億3百万円などに伴う減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、7億51百万円となりました。

これは、主に有形固定資産の取得7億41百万円などに伴う減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、3億4百万円となりました。

これは、主に短期借入金の借入れ12億43百万円などによる増加と、長期借入金の返済3億41百万円、配当金の支払額12億41百万円などに伴う減少によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績予想につきましては、2026年５月15日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,860,545	11,394,711
受取手形、売掛金及び契約資産	9,842,953	11,080,866
電子記録債権	3,079,304	3,148,284
有価証券	10,500,000	9,000,000
商品及び製品	4,934,481	4,608,028
仕掛品	67,141	101,805
原材料及び貯蔵品	1,560,939	1,723,853
その他	1,415,938	1,171,570
貸倒引当金	△67,394	△71,803
流動資産合計	38,193,910	42,157,317
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,007,928	21,143,694
減価償却累計額	△12,133,742	△12,564,159
建物及び構築物（純額）	7,874,186	8,579,534
機械装置及び運搬具	26,631,312	27,326,747
減価償却累計額	△20,159,554	△20,684,474
機械装置及び運搬具（純額）	6,471,757	6,642,272
土地	1,514,926	1,508,458
使用権資産	914,211	960,373
減価償却累計額	△322,811	△345,655
使用権資産（純額）	591,399	614,717
建設仮勘定	1,197,160	775,823
その他	4,755,969	4,913,897
減価償却累計額	△3,613,264	△3,828,201
その他（純額）	1,142,705	1,085,695
有形固定資産合計	18,792,135	19,206,501
無形固定資産		
その他	725,050	657,762
無形固定資産合計	725,050	657,762
投資その他の資産		
投資有価証券	129,235	178,156
繰延税金資産	825,457	830,954
その他	184,044	166,216
貸倒引当金	△141,270	△143,070
投資その他の資産合計	997,467	1,032,257
固定資産合計	20,514,652	20,896,521
資産合計	58,708,563	63,053,838

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,732,228	7,806,958
電子記録債務	898,425	1,068,738
短期借入金	2,826,771	4,146,028
1年内返済予定の長期借入金	1,537,176	1,277,192
未払法人税等	465,000	576,680
賞与引当金	658,132	561,239
役員賞与引当金	44,500	25,300
完成工事補償引当金	2,100	1,700
工事損失引当金	2,760	1,719
その他	2,934,425	2,258,255
流動負債合計	16,101,520	17,723,812
固定負債		
長期借入金	167,752	171,177
退職給付に係る負債	805,080	776,768
資産除去債務	50,439	50,515
その他	90,435	85,206
固定負債合計	1,113,708	1,083,667
負債合計	17,215,229	18,807,480
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,361,563	3,373,778
資本剰余金	3,449,772	3,461,987
利益剰余金	29,044,574	30,737,000
自己株式	△3,050	△3,145
株主資本合計	35,852,860	37,569,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65,322	98,824
為替換算調整勘定	4,976,646	6,018,625
退職給付に係る調整累計額	598,504	559,287
その他の包括利益累計額合計	5,640,473	6,676,736
純資産合計	41,493,333	44,246,358
負債純資産合計	58,708,563	63,053,838

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	22,750,866	25,765,988
売上原価	15,200,941	16,903,667
売上総利益	7,549,924	8,862,320
販売費及び一般管理費	4,581,839	5,107,953
営業利益	2,968,084	3,754,367
営業外収益		
受取利息及び配当金	34,433	31,210
為替差益	－	48,800
補助金収入	18,817	10,931
雑収入	40,988	23,490
営業外収益合計	94,238	114,432
営業外費用		
支払利息	44,728	70,242
為替差損	78,921	－
支払手数料	57,277	17,372
雑損失	3,192	4,972
営業外費用合計	184,119	92,587
経常利益	2,878,203	3,776,213
特別利益		
固定資産売却益	190	1,396
特別利益合計	190	1,396
特別損失		
固定資産除売却損	22,717	37,505
投資有価証券評価損	164,288	－
システム障害対応費用	4,891	－
特別損失合計	191,896	37,505
税金等調整前中間純利益	2,686,497	3,740,103
法人税等	594,779	803,040
中間純利益	2,091,718	2,937,063
親会社株主に帰属する中間純利益	2,091,718	2,937,063

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	2,091,718	2,937,063
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,340	33,501
為替換算調整勘定	△1,161,077	1,041,978
退職給付に係る調整額	△15,830	△39,216
その他の包括利益合計	△1,165,566	1,036,263
中間包括利益	926,151	3,973,326
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	926,151	3,973,326

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,686,497	3,740,103
減価償却費	1,146,458	1,271,986
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,320	1,800
賞与引当金の増減額（△は減少）	△123,724	△96,893
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△57,477	△85,622
完成工事補償引当金の増減額（△は減少）	△4,000	△400
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△26,500	△19,200
工事損失引当金の増減額（△は減少）	△12,245	△1,041
受取利息及び受取配当金	△34,433	△31,210
支払利息	44,728	70,242
為替差損益（△は益）	54,086	△18,541
補助金収入	△18,817	△10,931
固定資産除売却損益（△は益）	22,526	36,109
投資有価証券評価損益（△は益）	164,288	－
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	△814,263	△889,533
仕入債務の増減額（△は減少）	815,764	908,939
棚卸資産の増減額（△は増加）	△120,679	381,866
未払消費税等の増減額（△は減少）	△142,944	423,437
その他	△477,049	△868,442
小計	3,103,535	4,812,669
利息及び配当金の受取額	34,433	28,605
補助金の受取額	18,817	10,931
利息の支払額	△53,496	△82,968
法人税等の支払額	△531,777	△703,285
法人税等の還付額	68,718	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,640,229	4,065,951
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△709,547	△741,338
有形固定資産の売却による収入	2,248	2,646
無形固定資産の取得による支出	△110,265	△11,948
投資有価証券の取得による支出	△180,002	－
その他	△1,864	△675
投資活動によるキャッシュ・フロー	△999,431	△751,315
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	△25,877	1,243,644
長期借入れによる収入	－	42,889
長期借入金の返済による支出	△491,479	△341,931
自己株式の取得による支出	－	△94
配当金の支払額	△1,033,881	△1,241,399
その他	△8,884	△7,726
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,560,123	△304,618
現金及び現金同等物に係る換算差額	△306,994	24,149
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△226,319	3,034,166
現金及び現金同等物の期首残高	15,913,644	17,360,545
現金及び現金同等物の中間期末残高	15,687,324	20,394,711

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,024,284	1,726,582	22,750,866	－	22,750,866
セグメント間の内部売上高又は振替高	29,628	203	29,831	△29,831	－
計	21,053,912	1,726,785	22,780,697	△29,831	22,750,866
セグメント利益又は損失(△)	3,034,119	△76,598	2,957,521	10,563	2,968,084

(注)１．セグメント利益又は損失の調整額10,563千円は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,676,856	2,089,131	25,765,988	－	25,765,988
セグメント間の内部売上高又は振替高	37,164	－	37,164	△37,164	－
計	23,714,020	2,089,131	25,803,152	△37,164	25,765,988
セグメント利益	3,520,705	223,952	3,744,658	9,709	3,754,367

(注)１．セグメント利益の調整額9,709千円は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。